

第19回金融教育に関する実践報告コンクール

特賞

商業科と英語科における 教科横断的な金融教育の実践 「日本と諸外国の医療保険制度の比較から」

～今、私たちが考え、実践すべきこと～

新潟県・新潟県立三条商業高等学校 教諭 市川 操

知るぽると

www.shiruporuto.jp

© 金融広報中央委員会 2022

1. 学校概要

本校は、明治44年4月に南蒲原郡立三条商工学校として開校されて以来、新潟県の県央地域に存在する地元の会社・企業で活躍する多くの人材を送り出している。現在「総合ビジネス科」を持つ専門高校として、令和2年度・3年度に入学した生徒たちは1年次に商業科目である「簿記」「情報処理」「ビジネス基礎」を学び、2年次からは実務コース、創造コース、学究コースに分かれて進路を踏まえながら興味関心のあるビジネス分野の専門性をより高める学習を行っている。また、本校の大きな特色として、2年次の学校設定科目である「近隣国探究」の時間には、韓国語、中国語、ロシア語のいずれか一つを選択し、それぞれの国の言語や文化・習慣を学ぶことができる。県央地域と関係の深い北東アジアとの交流も視野に入れながら、地域で必要とされる人材の育成を目指して日々の教育活動が行われている。

2. 令和2年度3年度 金融教育研究指定校として

新潟県金融広報委員会事務局より令和2年度・3年度の2年間において金融教育研究校の指定を受け、令和2年度入学生を対象に2年間にわたり研究を進めることになった。近年商業高校で金融教育活動を行う際には、商業科目における商品開発や地元商店街・イベントでの販売実習などが行われることが多いと聞いている。しかし、今回本校での研究は商業科で学んだ知識に関連させながらも、日々の生活により密着した内容に焦点を置き、生徒たちが将来自立した生活を営む際に、お金で困らない知識や技術が身につくような機会にしたいと考えた。さらに今回の取り組みの特色として、生徒たちが商業科目で学んだ知識を土台に、英語の授業で発展させるような教科横断的な新しい視点からのアプローチによる研究を試みた。

3. 商業科と英語科における教科横断的な研究テーマの設定

今回の研究主任が英語教諭であったことから、金融教育の主なる実践活動は学究ビジネスコース2年3組での「コミュニケーション英語II」(4単位)の時間に行うこととした。1年次商業科目で学んだことを基にして、2年次英語の授業で金融教育に関連させた活動としていったい何ができるだろうかと商業科の教諭ともかなり時間をかけて検討した。その結果、「医療保険制度」に関する活動を行うことにした。対象学年である生徒たちは、1年次に商業科目の「簿記」や「ビジネス基礎」で税金や社会保険の仕組み等について基礎的なことは既に学んでいた。一方、2年次英語の授業で使用する教科書¹⁾に、ブータンでは医療費や教育費を無料とするという社会保障についての内容が取り上げられていた。また新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大していたことで医療体制や制度についての世の中の関心も高まっていた。このようなことから、医療保険に関する内容であれば商業と英語において2教科の横断的な取り組みが可能であるだろうと考えた。しかし、生徒にとっては税金や保険制度をより詳しく学ぶことは、まだまだ複雑で難しい分野であると思われた。

そこで、次なる課題になったのが、この分野に関して彼らの興味関心をどう持たせるかということだった。試行錯誤の末に、教材化の工夫に重点を置き、金融教育の視点を加味しながら、生徒にとって身近で具体性のある教材、疑問を喚起する教材、作業的な活動を促す教材を探し²⁾、「アメリカにおける高額医療」を導入に用いることを考えた。アメリカでは、自己破産の一番の理由が高額医療費であるという実態があるが³⁾、そのことを詳しく知る日本人は少ないだろう。ましてや高校生であれば、なおさらのことである。同じ先進国でありながら、日本とはかなり異なっている医療保険制度を持つアメリカの例ならば、生徒たちもきっと興味関心を持ち、そこから発展させた活動へと繋げていけるのではないかと期待した。ただし、アメリカ批判に終わらないように十分配慮を行うこととした。

また、後に活動を進めていく中で、「近隣国探究」の時間で2年生すべての生徒が韓国語、中国語、ロシア語から一つを選択し学んでいたことから、アメリカにとどまらず諸外国の医療保険制度の調査もやろうという提案が生徒たち自身から出てきた。それ以来、範囲を広げて調査研究を行うことにした。

4. 実際の活動

【導入】アメリカの高額医療について知る

生徒たちが医療保険制度に関心を持ちやすいように、まず『SICKO』というマイケル・ムーア監督作のドキュメンタリー映画を見せた。英語学習をする際にも、書面だけの英文解釈でなく、音声や映像を利用することで生徒たちの理解がより深

まると常に考え、よく利用している。この導入もかなりインパクトのある映像を利用した。この映画では、医療費があまりに高額であるために必要な医療を受けられずに多くのアメリカ人が苦しんでいる様子や、保険に入りたくても保険料が高すぎて保険に入れない無保険者が大勢いることも詳しく伝えられていた。同じ先進国でありながら、日本とはだいぶ実情が異なるアメリカの現実を知って、生徒たちは大変ショックを受けていた。同時に、日本では国民皆保険制度のもと保険証を提示すれば、手頃な治療費を払うだけで安心して医療ケアを受けられることにあらためて感謝している生徒も多くいた。(資料1)この他にも医療保険制度がテーマとなっている洋画『ジョンQ—最後の決断—』『パッチ・アダムス』を見て、医療保険制度というテーマへの関心をさらに深めさせた。

その後、書籍やインターネット等を利用した調べ学習活動として、自国日本の制度やアメリカの公的医療制度であるメディケイドやメディケア、オバマ元大統領が取り組んだオバマケアなどについても時間をかけて調べさせた。次に、イギリス、フランス、カナダなどの先進国も日本と同様に国民皆保険制度があり、それらの医療制度についても詳しく調べるよう指示した。さらには、近隣国である韓国、中国、ロシアの制度や教科書で取り上げられているブータンの医療制度や社会保障についても調べさせた。同時に、本校の「近隣国探究」の授業を担当されている韓国人、中国人、ロシア人の先生方にも生徒たちがインタビューを行い、それぞれの国の医療制度についてたずねてみたが、たくさんの情報がありすぎてどれが正しい情報なのかを判断することに生徒たちは大変苦労していた。

11月、12月には新潟大学の中国人留学生や民間保険会社の専門家からの講演を聞くなどして他国や自国の医療保険制度や社会保障に対する理解を深める活動が続いた。この頃には、医療保険制度を学ぶ生徒たちの意欲も高まり難しい分野への学習がスムーズに行われていた。

【展開①】アメリカ人大学生への質問・インタビュー活動

ある程度アメリカの様子を知ると、生徒たちからアメリカの医療制度に対する疑問点についても調べたいという声が出てきた。そこで、疑問点を洗い出し、現地のアメリカ人にたずねて答えてもらうことを生徒に提案し、実施することにした。

今回は、アメリカ、オレゴン州ウィラメット大学の16人のアメリカ人学生が協力してくれることになった。まずは、生徒たちに依頼文と質問を英語で作成させてみた。(資料2・3)英語に苦手意識を持つ生徒も多く、かなり苦戦していた。それでもなんとか完成させ、ALTの先生の添削を受けた後、英文の依頼文と質問を電子メールで大学生へ送った。その後、アメリカ人学生たちは、書面やビデオでアメリカの医療ケアについて自分自身や家族の経験談にも触れながら、わかりやすい英語で伝えてきてくれた。(資料4)自分が考えた英語の質問に対する回答を実際に受け取ると、友人たちと協力し、なんとか内容を理解しようとする姿は印象的であった。回答してくれたほとんどのアメリカ人学生たちは自国の医療制度がもっと改善されるべきだと考えていることや、現在アメリカの医療制度は人を助けることより利益を追求したものになり、必要な医療ケアを受けられない人が多くいるという事実を生の声を通して直接聞いたことで、生徒たちは大いに納得させられていた。この時点で、生徒の中に、日本の医療制度や日本のことを見つめ直すよい視点ができてきた。年齢が近い外国の学生たちと行うこのようなやり取りは日本の生徒たちにとっては、大変有意義な活動であるとあらためて感じた。

【展開②】日本の国民皆保険制度について知る

その後、生徒たちは調べ学習を進める中で、日本の医療ケアが国民皆保険制度で成り立っていることを知り、その歴史、特徴や窓口負担が3割で済むことの仕組みなどについても詳しく学んだ。さらには、高額療養費制度やこどもの医療費助成についても学び、日本では手厚い医療ケアを受けられることもわかった。この点で、社会保障制度や年金などの内容について単なる教科書の知識ではなく、実践的な知識としての理解が深まっている様子であった。さらには、日本の国民皆保険制度を説明する文をシンプルな英語で作成し、画像と録音した自分たちの声を付けたパワーポイントをアメリカ人学生に送るといった試みも行った。(資料5)

またテキスト⁴⁾を利用しながらの活動も行った。そこに掲載されていた給料明細書の見本を示しながら、正規雇用であれば社会保険料が毎月の給料から自動的に引き落とされていくことも説明できた。また、正社員とフリーターとの社会保障の受け方の違いにも触れ、正規雇用でないと十分な社会保障を受けることが難しいことも知った。

【まとめ】日本の国民皆保険制度の問題点を知り、自分たちに今できることを考える

生徒たちは現在の日本の医療保険制度の問題点と原因を探った。生徒たちは、少子高齢化や新型コロナウイルス感染症拡大防止策等で、日本の医療費が大変逼迫している現状を知った。医療費削減のために、国、県、各市町村においても様々な対策が取られているが、将来的に国民皆保険制度の破綻^{ひつぱく}がおこるかもしれないという懸念があることも知った。今後何らかのかたちで医療保険制度改革が行われたとしても、すべての国民が安心して医療ケアを受けることのできるこの国民皆保険制度を守り抜く必要があるだろうと、生徒たち自身が痛切に感じるようになっていた。

医療費を削減するために各自治体で行われている様々な取り組みを調べさせた後に、生徒同士で自分たちができることを話し合わせた。若い世代の自分たちが個人レベルで今からできること、将来的にしなければならないことを考える最終的な活動になった。そこで結論付けられたことは、「医療に頼りすぎないように今から将来に向けて健康な心身をしっかりと作ることが不可欠である」ということだった。そのために具体的に何ができるかを考えさせたところ、生徒たちからは「健康診断を定期的に受ける」「生活習慣病にならないよう健康によいものを食べる」「適度な運動をする」など、特別な答えではなく、ごくごく当たり前の答えが出てきた。しかし、これらは単なることばではなく、この一連の活動を通して学び得たものから、生徒たち一人一人が痛切に感じて表現してきていることがよくわかった。さらに、英語の活動ということで、生徒各自が自分の考えを英文で表現し、お互いに発表する機会を作った。(資料6)

5. 成果と今後の課題

この2年間の金融教育に関する活動の中で、何か自分の将来設計に対して真剣に考える「小さな」きっかけを生徒に与えることができたとしたら、成功だと考えていた。令和3年度の終わり、3月に金融教育についての生徒アンケートを行ったが、こちらが考えていた以上に生徒たちからよい反応が返ってきた。(資料7)多くはできなかったが、これまでの取り組みを振り返ってみると、当初設定した目標はおおいた達成できたと感じている。今回の実践活動のテーマとなった「医療保険制度」を通して、お金に関する分野にとどまらず、医療、健康、政治、教育など他の分野にも関心を持ち始めた生徒も多くいた。

また、医療制度に関して諸外国との比較をすることは、決して他国やそれらの国の制度を批判するために行ったのではない、ということは何度も生徒に伝えた。今回の実践活動を通して、日本の中にいると日本のことはよくわからないが、角度を変えて外から日本を見ることにより、日本のことをよりよく理解できるようになることを強調した。私たちが生まれ育った国に誇りを持ち、日本がどれだけ恵まれた国であるかを生徒たちに少しでも伝えることができたら、と願う。さらには、今回の金融教育活動を行うことで、普段の教科授業においてはなかなかできない経験をした。生徒にとっても担当者にとっても貴重な機会となった。生徒たちが、大学生と直接英語を通してやり取りできたこと、留学生や外部の方を招いてお話を聞いたこと、活動実践を報告する大きな発表会やコンテストに参加できたことなど、新型コロナウイルス感染症拡大による制約がありながらも多くの方々の協力によって活動が終了できたことに心から感謝している。また、金融教育はどんな教科においても実践が可能であり、まさに生徒たちの生きる力を育てる絶好のチャンスでもあると感じている。研究指定校としての研究期間は終了したが、私たち指導者が金融教育の必要性を理解し、今後の教育活動の中で金融教育に関連させた実践を継続していきたい。

注1)『LANDMARK Fit English Communication II』Les.10 Bhutan: A Happy Country 啓林館

注2)『金融教育プログラム(全面改訂版)―社会の中で生きる力を育む授業とは―』P67 (4)教材化と指導方法の工夫 金融広報中央委員会 2016年

注3)堤 未果『沈みゆく大国アメリカ』P32,33 集英社新書 2014年

注4)『これであなたもひとり立ち 自立のためのWORKBOOK』P14 社会人になるための経済学 金融広報中央委員会 2019年

協力:アメリカ オレゴン州 Willamette University 学生16名

指導計画書 (R3年度)

1. 研究の目標

1. 経済・金融の仕組みや機能を理解する。
2. 将来の家計設計の基礎知識を身につける。
3. キャリア教育の一環として位置付け、進路決定に役立てる。

2. 主な活動実践・指導実践等

<主な学習内容・活動について>

昨年度新型コロナウイルス感染防止のため実施できなかった活動を再度精選し、それらを発展させた形での実施を計画。

- ・2学年学究ビジネスコースで、1年次商業科目で学んだ知識を土台にしながら、外国語科目であるコミュニケーション英語IIの授業において、金融教育に関連させた「医療保険制度の国際比較」を行う。他学年においても、1学年では学校設定科目である「地域ビジネス」を通して、経済や金融の仕組みに関する基礎知識を学ぶ。3学年では、卒業後の生活を踏まえたライフプランなどを金融教育に絡めながら学習する機会を得る。
- ・2学年全体で取り組む朝学習やLHRの時間においても、補助教材を利用しながら、現在及び将来において社会生活を営む上で必要不可欠な経済や金融の知識を学ぶ。
- ・アメリカ人大学生とのインタビュー活動を通して、アメリカの医療保険制度への理解を深める。
- ・留学生や外部講師による講演を聞き、医療保険制度についての学びをより深める。

月	活動計画	実施教科・学年等
1年生 6月	<p>○外部講師による講演 年金セミナー『知っておきたい年金の話』 日本年金機構三条事務所</p> <p>『燕三条地域の産業と経済動向について』 三条信用金庫 地域経済研究所</p>	地域ビジネス
2年生 4月～9月	<p>○金融の仕組みと機能を知る Lesson 2 お金を知る ・お金と社会 ・将来とお金</p> <p>Lesson 3 お金を使う ・賢いお金の使い方を考える ・社会に役立てるお金の使い方</p> <p>Lesson 4 お金を稼ぐ ・お金を稼ぐ方法 ・職業の選び方 ・様々な働き方</p> <p>Lesson 5 お金を貯める、増やす ・お金の貯まり方、増え方を知る ・いろいろなお金の増やし方</p> <p>Lesson 6 お金を借りる ・利息について ・返済方法の違いを知る 補助教材：日本FP協会 『10代から学ぶパーソナルファイナンス』</p>	朝学習 (学年全クラス)

月	活動計画	実施教科・学年等
6月	○自立のためのお金の基礎知識 ・私の命を育んだお金はいくら？ ・一人暮らしの生活費 ・ライフプランとお金など 補助教材：金融広報中央委員会 『これであなともひとり立ち』	LHR (学年全クラス)
7月	○医療保険について ・日本の国民皆保険制度について学ぶ。 ・諸外国の医療保険について知る。 ○諸外国の医療制度についての調べ学習を通して 日本の医療保険についての知識、理解を深める。	C 英語 II (学究ビジネスコース) C 英語 II (学究ビジネスコース)
8月夏季休業	○「金融と経済を考える高校生小論文コンクール」に応募。	C 英語 II (学究ビジネスコース)
8月下旬	○アメリカ人大学生たちにアメリカの医療保険制度について 質問・インタビューを開始する。	C 英語 II (学究ビジネスコース)
10月	○新潟県商業高等学校商業クラブ研究発表会参加 『日本と諸外国の医療保険制度の比較から』 ～今、私たちが考え、実践すべきこと～	商業クラブ
11月	○中国人留学生による講演会 『中国の医療保険制度について』	C 英語 II (学究ビジネスコース)
12月	○外部講師による講演会 『保険制度について』	C 英語 II (学究ビジネスコース)
12月18日	○国際理解教育プレゼンテーションコンテスト参加 『Health insurance around the world』	商業クラブ
2月	○消費生活出前授業 『若者に多い消費トラブル』 三条市 市民何でも相談室	家庭総合
3月	○金融教育協議会 ・授業公開 ・生徒による実践発表及び協議会	C 英語 II (学究ビジネスコース)

月	活動計画	実施教科・学年等
<p>3年生 7月</p>	<p>○求人票の見方 ・給与の支給形態 （支給項目と控除項目） ・社会保険料（健康保険、厚生年金、雇用保険）</p>	<p>総合実践</p>
<p>10月～12月</p>	<p>○巣立ち教室 ワーク 1 自立のための意思決定 ワーク 2 私の命を育んだお金はいくら？ ワーク 3 受験のための経済学 ワーク 4 社会人になるための経済学 ワーク 5 ひとり暮らしの生活費 ワーク 6 ひとり暮らしの部屋探し ワーク 8 カード社会の歩き方 ワーク 9 金利と法律に強くなる ワーク 10 おいしい話にご用心 ワーク 11 悪質商法とたたかう ワーク 12 リスクと資金管理 ワーク 14 ネット社会を生きる ワーク 15 健康管理をしっかりと 補助教材『これであなたもひとり立ち』</p>	<p>総合実践</p>
<p>1月</p>	<p>○社会人準備セミナー講演会 『社会人としての心構え』</p>	<p>就職内定者</p>

金融教育研究指定校 授業指導案

「日本と諸外国の医療保険制度の比較から」

～今、私たちが考え、実践すべきこと～

新潟県立三条商業高等学校教諭 市川 操

実施クラス 2学年 学究ビジネスコース(2年3組)39名
 授業実施日 令和4年3月15日(火曜)3時限
 教科 コミュニケーション英語II
 使用教科書 LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)
 単元 Lesson10 Bhutan: A Happy Country

ねらい

- ① 日本の国民皆保険制度の仕組みと利点、及び問題点について知る。
- ② 世界的にも評価されている日本の国民皆保険制度を維持するために 若い世代の生徒が今実践できることを考えさせる。

展開の特色

- ① 諸外国、特にアメリカの医療制度と比較することで、保険制度という難しい分野への興味を導く。
- ② 外国語を使って必要な情報を探したり、日本のことについて発信してみる。

導入	①アメリカの高額医療について知る。	アメリカ人大学生からのビデオメッセージの内容を理解した後、お互いに感想を話し合う。
展開	①日本の国民皆保険について理解を深める。 ・制度の仕組み ・歴史 ・特徴 ・子ども医療助成 ・高額療養費制度 ②医療費節約のために生徒たちができることを考える	日本の国民皆保険を理解する。 それらを英語に訳して、説明する。 逼迫している医療費を節約するために個人レベルでできることを考え、発表する。
まとめ	①アメリカの医療保険制度について理解を深める ②本日の振り返り	英文で書かれた物語を読んで、医療保険に対する理解を深める。

資料1 ドキュメンタリー映画『SiCKO』を見ての生徒たちの感想と質問

(感想)

●(生徒A)

私は今まで、アメリカといえば、自由で裕福なイメージがありました。しかし、『SiCKO』を見て、病気や怪我をしても十分な治療を受けることができずに苦しんでいるアメリカ人がたくさんいることがわかりました。映画を見る前は、アメリカでも、誰でも簡単に保険に入れると思っていました。この映画の情報によれば、アメリカでは6人に1人が無保険者で毎年1.8万人が治療を受けられずにいるということです。

また、保険に入れた人たちも、安心できるのかと思いきや、保険に入っている人でさえ必ず保険が適用されるわけではないのです。利益を上げたい保険会社があれこれ難癖をつけ、保険金給付を渋ったり、必要な治療を拒否することがあるということです。アメリカでも、医療費のことを心配しないで、すべての人が必要な医療を受けられるようになればいいと思いました。

カナダ、イギリス、フランスも日本と同様に国民皆保険制度が整っており、国民は安心して病院に行けるようでした。国民皆保険制度を取り入れている日本に生まれて、本当に良かったと感じました。そして、安心して病院に行けることに感謝して生活しようと思いました。

●(生徒B)

今回、『SiCKO』という映画を鑑賞しました。国によって医療保険制度がそれぞれ異なっていて、とても興味深かったです。中でも印象に残ったのはアメリカの制度についてです。日本の医療保険制度とは全く異なっていて驚きました。そして、その制度が多くアメリカ国民を苦しめていることに私は憤りを感じました。本来病気やけがを患った人々を助けるためにあるものが、実際は病気やけがを患った人々をさらに苦しめるものであることを知りました。病気やけがを患った人々だけではありません。保険会社で働く人々の中にも苦しくつらい思いをしている人もいます。このようなことになってしまったのは、アメリカでそれが当たり前になってしまっていることだと思います。個人の意識を変えていくことももちろん大切ですが、国全体で国民の意識を変える必要があると思います。それは、アメリカだけのことだけでなく世界全体でもそうあるべきだと思います。私は、日本の医療保険制度にとっても感謝しています。これからもその気持ちを大切にしていきたいと思いました。

(質問・疑問)

1. アメリカの人たちは、現在の医療保険制度に満足しているのだろうか。
2. コロナにかかったと思ったらすぐに病院に行くのだろうか。
3. もし、とても重篤な病気や怪我をして医療費を払えないという状況が起こったらどうするのだろうか。
4. どの程度具合が悪くなったら、病院へ行くのだろうか。
5. 病気にならないように、または怪我をしないように、普段生活で何をしているのだろうか。
6. アメリカでは、救急車を呼んだ時の代金が非常に高い。もし、意識を失った人がいて誰かがその人のために救急車を呼んだ場合、誰が料金を払うのだろうか。もし、その意識を失った人が救急車の代金を払うことができなかった場合どうなるのだろうか。

資料2 アメリカ人学生への依頼文

2021/7/15

Subject: Request volunteers for my English class

Dear Willamette Students

Hello! We are students at Sanjo Commercial High School, in Niigata prefecture, Japan. We are writing to ask whether you might be interested in participating in a research project that we are working on.

We have been researching Japanese medical insurance as a current social issue. As it is in English class, we also are

looking into the medical systems of other countries like the US, Canada, France, and the UK.

Last month, we watched the film, "SiCKO" by Michael Moore made in 2007. The documentary focuses on American health insurance. We were very shocked to learn that the American medical system is so different from ours and that medical bills in America are very expensive. After watching the film, we had lots of questions about it, and we are hoping to ask American students what they think.

We are looking for any American students who might be willing to help answer our questions and show us any stories or information about the medical system and health insurance and how it affects you.

This topic sounds very difficult, but our questions are easy and simple. We are not good at English, but we try our best all the time. We do not think you need a lot of time to help us. We hope that you can also enjoy participating in the research project with us.

If you would be willing to assist us, could you please email Ms. Ichikawa at: XXXXXXX@XXXXX.jp

Thank you very much for your time.

Yours sincerely,

Class 3, Second year

Sanjo Commercial High School

- ① ウィラメット大学の生徒さん、こんにちは。私たちは新潟県にある三条商業高校の生徒です。今日は、私たちが授業で行っているリサーチプロジェクトに皆さんから参加してもらえないかどうかをお聞きするための手紙を書いています。
- ② 私たちは今、時事問題の一つとして日本の医療保険について学んでいます。その勉強を英語の授業で行っているので、アメリカ、カナダ、フランス、イギリスなど諸外国との医療システムと比較しながら調査しようと考えています。
- ③ 先月私たちは、2007年マイケル・ムーア監督によって作られた『SiCKO』という映画を見ました。それはドキュメンタリー映画で、アメリカの医療保険についての話でした。私たちは、アメリカでは医療費が非常に高額であることやアメリカの医療システムが日本のものとは全く違うことに大変驚きました。その映画を見た後、たくさんの疑問が出てきました。そこで、今皆さんがアメリカの医療制度についてどのように考えているかということをお聞きしたいと思っています。
- ④ 私たちは、アメリカの医療システムについて私たちの質問に答えてくれたり、いろいろ情報を与えてくださるアメリカの大学生を探しています。このトピックは難しそうに聞こえますが、私たちの質問は簡単です。私たちは、英語が得意ではありませんが、なんとか頑張ります。皆さんにお手伝いいただくのに長い時間は必要ないと思います。皆さんから、私たちのリサーチプロジェクトに楽しく参加していただけたらと思います。もし、私たちのプロジェクトにご協力いただけるようでしたら担当の市川先生のメールアドレスにお返事をください。よろしくお願ひします。

資料3 アメリカ人学生への7つの質問

Questions to the American students.

Some information about the Japanese Healthcare System.

The Japanese healthcare system is universal. Nationwide all working adults contribute to the healthcare system, it comes out of your paycheck, it is also compulsory to be on national healthcare. Because of this, we can go to hospitals and clinics very easily. Medical bills are very inexpensive as most medicines, check-ups and surgeries are subsidized by the government. We were very surprised to learn that the American medical system is so different from ours and that medical bills in America are very expensive. It seems that many Americans have many problems as a result of the health insurance system.

After watching the film, 'SiCKO', we had questions about it. We'd like to ask what you think. If you hesitate about answering any questions, please feel free to skip the question. You don't need to answer them all.

Thank you very much for your cooperation.

1. Do you like the current healthcare system in the US? Why? Why not?
2. If you feel that you might have Covid-19, would you go to the hospital immediately, or would you hesitate to go?
3. If you had a very, very serious illness or injury and you couldn't pay the medical bill, what would you do?
4. At what level of sickness do you go to the hospital?
5. What do you do in your daily life to not get sick or injured?
6. Ambulance fees are very expensive in the US.
If a person is unconscious and someone else calls an ambulance for them, who pays in this case? What if the unconscious person cannot afford the ambulance fees?
7. If you have any stories or more information about the American medical systems, please tell us.

私たちが、映画『SiCKO』を見た後、質問があります。皆さんに、それらの質問に答えていただきたいと思っています。もし、質問に答えることが難しい場合は、どうぞ次の質問に移ってください。すべての質問に答えていただく必要はありません。皆さんのご協力に感謝します。

質問

1. あなたは今アメリカでの医療システムに満足していますか？それはなぜですか？なぜ満足していませんか？
2. もし、コロナにかかったと思ったらすぐに病院にいきますか？それともすぐには行きませんか？
3. もし、とても重篤な病気あるいは怪我をしたのに医療費を払えないという状況が起こったらどうしますか？
4. どのくらい病気が悪くなったら病院へ行きますか？
5. 病気にならないように、怪我をしないように、普段の生活で何をしていますか？
6. アメリカでは、救急車を呼んだ時の代金が非常に高いと聞いています。もし、意識を失った人がいて誰かがその人のために救急車を呼んだ場合、誰がその代金を払いますか？もし、その意識を失った人が救急車の代金を払うことができなかった場合どうなりますか？
7. もし、何かアメリカでの医療システムについて何かエピソードや情報等があったら教えてください。

資料4 アメリカ人学生からの回答例

●学生Aさんからの回答(女性)

1. Do you like the current healthcare system in the US? Why? Why not?

I do not like the current healthcare system because I believe the healthcare should be cheaper at the very least and everyone should be able to get medical attention if they need.

2. If you feel that you might have Covid-19, would you go to the hospital immediately, or would you hesitate to go?

I would hesitate to go mostly because of how our Covid system is set up.
I would first get tested and quarantine myself at home.
And I would only go to the hospital if my condition gets so bad that I need hospitalization.
Such as being on a bed, or being too sick that I can't take care of myself etc.

3. If you had a very, very serious illness or injury and you couldn't pay the medical bill, what would you do?

Depending on the severity of the illness or injury, if its illness I would probably not treat myself and I do my best to work to pay the medical bill before I start to get treatment.
And if its injury I would do my best to work around that and once again, work to pay for medical bill.

4. At what level of sickness do you go to the hospital?

It's when you can't take care of yourself, or yah, when you can't take care of yourself, so like, being unable to do basic things like getting up, walking around, eating, drinking water, or if there's so much pain that you can't stand it.

5. What do you do in your daily life to not get sick or injured?

Oh, for one, with the pandemic, I do wear a mask everywhere I go.
I wash my hands a lot. I use a lot of hand-sanitizer. Especially when I'm going to a restaurant. You know, I take a shower everyday.

6. Ambulance fees are very expensive in the US. If a person is unconscious and someone else calls an ambulance for them, who pays in this case? What if the unconscious person cannot afford the ambulance fees?

Ah, I think the unconscious person usually pays. I'm not exactly too sure about this question. I've heard stories about people who may have needed an ambulance, running away from the ambulance because they would not like to pay the fee and it's too expensive.

7. If you have any stories or more information about the American medical systems, please tell us.

I don't really have that many stories, I'm not that experienced in this area.
but I think it's very , the healthcare system is very centralized around gaining revenue and money rather than taking care of people sometimes and that it feels very frustrating some people aren't able to afford this kind of medical care, especially if they're gravely injury and stuff. That's about it.

日本語訳

1. 現在のアメリカの医療制度には満足していません。なぜなら、医療はもっと安くあるべきですし、必要ならば、どんな人も医療を受けられるようにするべきです。
2. 新型コロナウイルスに関するアメリカの治療システムにより、すぐには病院に行かないでしょう。
まず、最初に検査を受けて、外部の人と接触しないように家にいます。それでも、状態が悪くて病院での治療が必要となれば、病院へ行くでしょう。たとえば、ずっと寝たままであるとか、あまりに病気が重くて自分でどうにもできない時には。
3. 病気や怪我の重さにもよりますが、自分で治せない病気なら、治療を受ける前に、なんとか医療費を払えるように最善を尽くすでしょうね。怪我の場合も同様です。
4. 自分でどうにもできない時、基本的なことができないなら、たとえば、起き上がること、歩くこと、食べること、水を飲むことなどができないなら。あるいは、あまりの痛み到我慢できない時なら、病院へ行きます。
5. この(コロナの)大流行で、私はどこに行くにもマスクを必ずします。手もよく洗います。手指消毒もよくします。特に、レストランへ行く時は。シャワーも毎日します。
6. はっきりとはわかりませんが、たいていは、意識がなくても救急車で運ばれた人が料金を払うと思います。
救急車を必要としていた人たちが、救急車から逃げ出したという話を聞いたことがあります。なぜなら、料金を払いたくなかったのでしょうか。とにかく高すぎます。
7. あまりそういう話は知りません。このあたりでは、経験がありません。
しかし、アメリカの医療制度は、人を助けることよりも、利益やお金を得ることにとっても集中しすぎています。深刻な怪我やことがあった場合でも、医療ケアを受けられない人がいるのは本当にいらだちます。

●学生Bさんからの回答(男性)

幼い時喘息を患い、治療費の支払いで家族が大変苦労されていたという学生のお話

7. If you have any stories or more information about the American medical systems, please tell us.

I used to suffer from Asthma attacks, so I would typically go to the hospital when I was younger. My family was poor, so we were able to get “free” health insurance or what we thought was “free”. It turned out that insurance would cover the care and medicine I received for the care while I was in the hospital, but the prescriptions and medicine I would need at home. This was a major financial burden on my family and they struggled to pay for these expenses.

This situation is most likely one of thousands that happen throughout America. I don't find it surprising that many people turn to home or more naturalistic remedies as they are cheaper and can sometimes work. The way the current American healthcare system functions is, in my opinion, very skewed and takes away from medicine and medical practitioners' mission to help people and instead creates a monopoly.

日本語訳

私は以前喘息に苦しみ、幼い頃は特に病院に行く必要がありました。私の家族は貧しかったので、無料の医療保険を利用できました。しかし、その保険は私が病院にいる間の治療や薬を無料にするもので、私が自宅で必要としていた処方薬などは無料になりませんでした。そのことが、私の家族にとっては大変大きな負担になり、家族はその支払いに大変苦労していました。

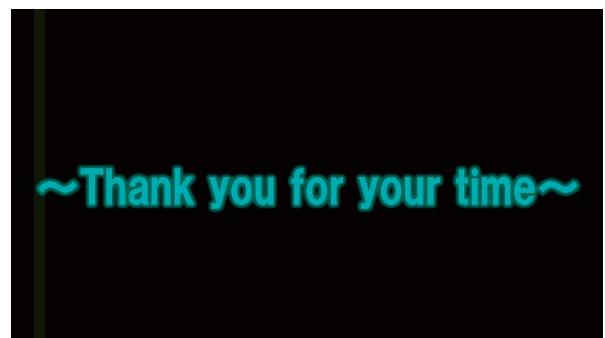
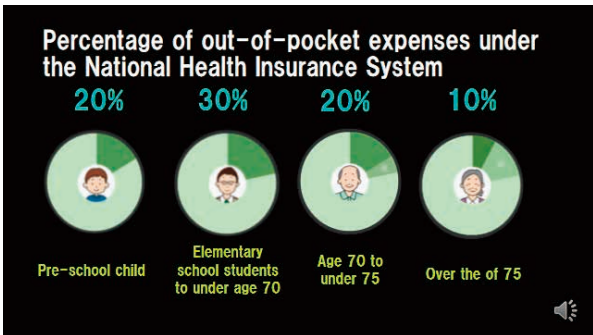
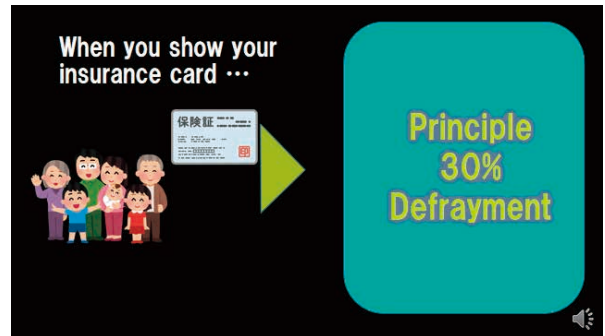
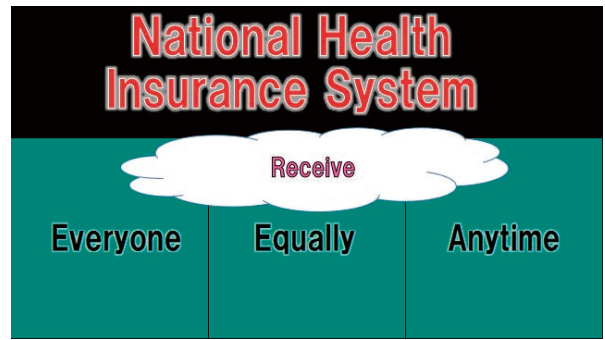
この状況は、アメリカの至る所で起こっているよくある何千もの中の一つです。多くの人たちが自宅治療や自然治療に頼っているのは驚くことではありません。なぜなら、それらより安く済みますし、時々効果的だからです。私の考えでは、現在のアメリカの医療制度の機能は大変歪んでいて、人を助けるべき本来の医学や医師たちの使命を取り払ってしまっていて、そのかわりに、独占を作り出しているのです。

資料5 生徒が作成したパワーポイントの説明原稿と画像

(説明文)

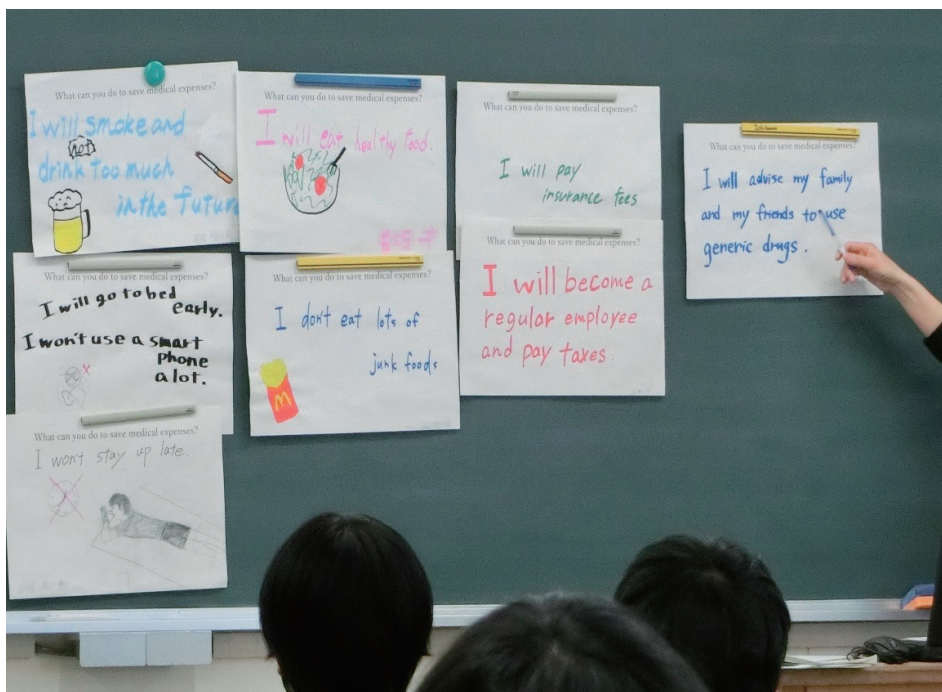
- ① We are going to talk about the Japanese health insurance system.
- ② Japan has a National Health Insurance System. Under the system, everyone can receive medical care equally at any time.
- ③ The system was established in 1961. All Japanese citizens must enroll in public medical insurance and each person pays insurance fees every month depending on their income.
- ④ As a result, if you show your insurance card to your medical care provider, all you have to do is to pay 30% of the total fees.
- ⑤ However, children under age six, and elderly people between the ages of 70 to 74 pay only 20% of the total fees, elderly people over the age of 75 only pay 10% of the total fees.
- ⑥ In addition, depending on the local municipality, there are subsidies for children's medical expenses. In Sanjo City, where we live, all people under the age of 18 can visit their medical-care provider four times a month for the cost of \$4,6 per visit, after that additional visits are free.
- ⑦ In addition to this, there is also a medical care system to support people who have to pay lots of medical fees. In Japan, we have good medical insurance systems, we can easily get access to medical care without paying a lot of money.

(画像)



資料6 医療費節約のために自分たちにできることは？

医療費を節約するために、自分にできることを考え、英語で表現し発表した。



What can you do to save medical expenses?

- I'll take a medical examination regularly.
 - I will eat healthy food so as not to get sick.
 - I promise not to stay up late and take enough sleep.
 - I won't use a smartphone all the time.
 - I will NOT smoke and drink too much in the future.
 - I will use generic drugs instead of regular drugs.
 - I will have a home doctor.
 - I am going to advise my family and friends to keep healthy lives.
 - I will get a full-time job and pay taxes.
 - I'll learn more about Japanese health care systems.
-
- 健康診断をしっかり受ける。
 - 生活習慣病にならないように健康によいものを食べる。
 - 早寝早起きと適度な運動をする。
 - スマートフォンを使いすぎない。
 - 成人になった時に、アルコールを飲み過ぎない。たばこは吸わない。
 - 薬を処方してもらう時は、ジェネリック薬にする。
 - かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つ。
 - 家族や友人にも、健康な生活を送るように促す。
 - 正規雇用で就職し、健康保険料や税金をきちんと払える人になる。
 - 日本の国民皆保険制度についてもっとよく知る。

資料7 金融教育実践活動を終えた生徒たちからのことば

令和3年度の終わり金融教育終了時に生徒が書いたアンケートのいくつかを次に示した。

●(生徒A)

「私は、以前は日本の医療保険制度すら、よくわかりませんでした。しかし1年間学習することで、制度に興味がわきました。実際に現地に住んでいる外国の方のインタビューを聞いたり、直接会ってお話を聞くことは映画を見るよりも大事なことだと思います。高校生のうちに金融教育で勉強することは、将来のためになるので他の高校生も勉強した方がいいです。できれば小学校や中学校の早い時期から勉強するのいいと思いました。」

●(生徒B)

「今まで金融に関することは全く興味がなかったし、難しい話だし……と知ろうとしなかった。しかし、今年学校で勉強したお陰で、難しい金融のことに興味を持てたし、今私が日本で簡単に治療が受けられることがどれだけ幸せなことかをあらためて強く感じた。また、生まれてから今までにどれだけお金が必要だったのか、そしてこれから一人暮らしをするのに必要なお金を知れたのも興味深かった。自分一人にとてつもないお金がかかっていることがわかったので、親にもっと感謝しなければいけないと思った。」

●(生徒C)

「生まれてからこれまでにどれくらいお金が必要だったかを調べた時、思っていた以上にずっと高くお金がかかっていたので驚きました。小学校、中学校の教科書は税金が使われていて、親だけでなく、税金を払ってくれている人たちにも感謝しなければいけないと思いました。一人暮らしの生活に必要なお金の額も想像していたよりも多くて驚きました。将来一人暮らしをしたいと思っているので、しっかり計画しようと思いました。この金融教育で、保険やお金のことについていろいろ学ぶことができ良かったし、貴重な経験になりました。知っているのと役立つこともあるので、これからも自主的に調べていきたいと思いました。」

●(生徒D)

「私は、将来看護師になりたいと思っています。日本だけでなく海外の医療保険制度についても知れて良かったです。患者さんが安心して医療を受けられる日本は恵まれているとあらためて思いました。日本の国民皆保険制度がこの先もずっと維持されていってほしいです。」

●(生徒E)

「いろいろな国の医療制度を学んで、あらためて日本の医療制度はすごいと思ったし、その制度に感謝したいと思いました。私は小さい頃、病気がちだったらしく、よく入院していた話を母から聞かされてました。もし、自分が日本ではなくアメリカで生まれていたら、と考えると少し怖くなります。ですから、日本の医療制度には本当に感謝したいですし、この制度がいつまでも維持されるように、社会人になったらしっかり働いて社会に貢献したいです。」